

せりがやの輝く「蒼空」の下「風爽」かおる「丘陵」にたたずむ「陽溜」

ひだまり せいがやの陽溜



町田第一中学校
サポートルームだより
2024年 7月号

梅雨明けにはまだしばらく時間がかかりそうですが、体育祭、そして期末考査のあった1学期も残りわずかとなり、夏休みが近付いてきました。サポートルームでも7月12日～9月8日までは閉室となります。ただし個々の相談等があれば夏休み前後にはいつでもいらしてください。2学期もこれまで同様に周りの友だちや先生方と新たな体験を積み、楽しい学校生活を送って欲しいと願っています。2学期もサポートルームのスタッフ一同で見守っていきたいと思います。

今月の授業より① 「キャプテンリノ・ヒーロー巨大版」

パソコンがランダムに枚数を指定するB5版くらいの大きなトランプを壁と床に用いて、参加生徒が建築士チームとなり、協力しながらアイデアを出し合い、土台から補強しながら設計施工し、果たしてどこ（何段）まで高く積み上げられるか…という発想施工協力ゲームです。硬質ゴムでできたキャプテンリノの人形をその都度そのフロアーに住まわせて棟上げを確認しつつ、高層タワーを目指すというスリルに満ちたゲームです。一中サポートルームでは、7月に入り9段完成から始まったこのゲームでしたが、その日のうちに写真右の13段記録が生まれ「もうこれが限界か」と思いましたが、今学期最終の10日には何と17段のサポ新記録が誕生し、子どもたちの限りない豊かな発想と協力が生み出す無限の可能性に、生徒も教員も大きな達成感を得ました。



今月の授業より② 「コトバグラム」



「人それぞれが発する言葉の奥に秘められた思いの軽重を体験するゲーム」です。たとえば普段から使い慣れている「おかしい」という言葉を一つとっても「面白おかしい」や「普通でない、変わっている」という感覚の違いがあります。「好き」と「愛している」の言葉の重さはどちらが重いか？それを伝える相手によってもその言葉の重さが違ってきます。相手の気持ちを想像しながら、それぞれの言葉がもつ重さを考え発してみる。そして周りの人が自分と違う意見をもっていたらそれに耳を傾ける。「なるほどな」と納得する…そんな1時間になりました。

ある授業で一人の生徒が「誰に対しても褒める言葉は言いやすい。」と答えました。ポジティブな言葉は言われたら嬉しく、そして伝えた人も気持ちが良いものです。これからも良い人間関係が続く言葉を選択し、思いを込めて使っていきたいですね。